

CAP ワークショップ実施にあたっての感染予防について

2020年4月10日 NPO 法人子ども・人権ネット CAP・にいがた

1. スタッフの体調管理の徹底

CAP・にいがたのメンバーが学校にウイルスを持ち込まないように以下の点を徹底します。

- ワークショップ当日は体温測定をします。(37.5度以上の場合は家で安静にする)
- 体調が悪い時には担当を外れます。(咳、倦怠感、たん、息切れ、のどの痛み、筋肉・関節痛、頭痛等)
- 疑いのある場合や、家族が感染した場合は速やかに事務局へ知らせ、担当から外れます。
- 感染症が判明した場合は速やかに事務局へ知らせ、担当から外れます。
- 日常生活の中でも「3つの密が重なる場所」へはなるべく行かないよう心掛けます。
3つの密①換気の悪い場所②多くの人が密集する場所③近距離(お互いに手を伸ばしたら届く距離)での会話や発声が行われる場所。
- 規則正しい生活を継続します。
バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠などで抵抗力を高めることを心がけます。

2. ワークショップ実施について

学校での感染予防対策に準じ感染予防に努めます。

- 学校に到着したら手洗いうがいを行います。
- 控室でも適切な距離を取り、打合せ等を実施します。
- ワークショップ実施に際し、CAP・にいがたのメンバーはマスクを着用します。
- 会場の広さに応じて、できる限り距離を空けて会場設営をします。

子どもワークショップでは

- 生徒に名札を配る時やロールプレイでは、適切な距離を取ります。
- 近距離での会話となるグループでの話し合いは十分注意して実施します。
- できる限り窓を開け換気を徹底します。
- 床に直接荷物や筆記用具等を置かないよう注意します。

おとな(教職員・保護者)ワークショップでは

- 受付では適切な距離を取り対応します。
- おとなの名札はCAPのメンバーが書きます。(ペンを共用しないため)
- 近距離での会話となるグループでの話し合いは十分注意して実施します。
- できる限り窓を開け換気を徹底します。
- 床に直接荷物等を置かないよう注意します。